

授業科目名	資格英語 (TOEIC)	単位数	2単位
担当教員名	平岡麻里	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)</p>			
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC L&R の出題形式を知り、適切な試験対策を実行できる。 ・TOEIC L&R 特有の問題を見抜き、素早く正しく答えることができる。 ・TOEIC L&R 受験のコツを習得し、実際の受験時に使うことができる。 ・ある程度の期間にわたり継続的かつ自主的にe-learningを行うことにより、独立した語学学習者になる。 <p>※TOEIC L&R で600点の獲得を目指すコースですが、700点程度まではカバーできます。また、試験対策に特化しているため、適切な学修効果を得るためにはある程度の英語力 (CEFR A2～B1) が必要です。英語力に不安がある場合は英語基礎 (Reading & Writing) や英語基礎 (Listening & Speaking)などで先に英語力 (特に文法力とリスニング力) をつけてから履修することをお勧めします。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>TOEIC L&R は現在の日本の就職活動で最も参照される英語能力試験です。この科目では平均的日本人よりやや高い 600 点を目指す e-learning で頻出問題の演習を行い、スクーリングでは実践的な試験対策のコツを学びます。e-learning に模擬試験 (100問1時間) が2回含まれているので、自分の現在の英語力を客観的に把握することもできます。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回:ガイダンス 第2回:Part 1 & Part 2問題演習 (1) 第3回:Part 3 & Part 4問題演習 (1) 第4回:Part 5 & Part 6問題演習 (1) 第5回:Part 7問題演習 (1) 第6回:模擬試験 (1) 第7回:Part 1 & Part 2傾向と対策 第8回:Part 3 & Part 4傾向と対策 第9回:Part 5 & Part 6傾向と対策 第10回:Part 7傾向と対策 第11回:Part 1 & Part 2問題演習 (2) 第12回:Part 3 & Part 4問題演習 (2) 第13回:Part 5 & Part 6問題演習 (2) 第14回:Part 7問題演習 (2) 第15回:模擬試験 (2) 科目修得試験</p>			
<p>スクーリングでの学修</p> <p>Unit 7, 8, 9, 10を中心にすべての内容を包括的に取り上げる。アクティブラーニングの手法も用いて、学生が自身の英語力や出題者の意図を踏まえ、効率的に得点を伸ばせるコツを学ぶ。</p>			
<p>テキスト</p> <p>【e-learning教材】Reallyenglish『KICKOFF FOR THE TOEIC(R) L&R』</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>小石裕子(2016)『TOEIC(R)テスト 中学英文法で600点!』アルク(改訂版)、978-4757428096 TEX加藤(2017)『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』朝日新聞出版、978-4023315686 ETS(2024)『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 II』国際ビジネスコミュニケーション協会、978-4906033744</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)</p>			